



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 ダントーホールディングス株式会社  
 コード番号 5337 URL <https://www.danto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 加藤 友彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 前山 達史

TEL 06-4795-5000

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,663	15.8	212		262		93	
2018年12月期第3四半期	4,026	0.3	471		417		144	

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 138百万円 ( %) 2018年12月期第3四半期 535百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	3.14	
2018年12月期第3四半期	4.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	13,427	10,245	73.7
2018年12月期	13,745	10,109	71.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 9,897百万円 2018年12月期 9,769百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	4.5	200		250		100		3.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	30,000,000 株	2018年12月期	30,000,000 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	334,369 株	2018年12月期	334,301 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	29,665,670 株	2018年12月期3Q	29,666,079 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2 -
(1) 経営成績に関する説明	2 -
(2) 財政状態に関する説明	2 -
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2 -
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3 -
(1) 四半期連結貸借対照表	3 -
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5 -
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7 -
(継続企業の前提に関する注記)	7 -
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7 -
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7 -
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7 -
(追加情報)	7 -
(セグメント情報等)	7 -
3. その他	8 -
継続企業の前提に関する重要事象等	8 -

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は回復基調で推移しておりますが、米中貿易摩擦などの影響により依然として先行不透明な状況で推移しております。

このような環境下、当社グループは、タイル事業につきましては、引き続き工場の稼働率の向上による原価率の改善、販売体制の強化を図り、タイル乾式工法等の積極提案受注活動を行って参りました。

一方、前連結会計年度より本格化した不動産事業につきましては、新規顧客の開拓による事業拡大に努め、順調に収益を計上し、業績に寄与しております。

また、日本の伝統技術や文化が世界的に注目を集めている中、タイルに拘らず新たな素材を開発、販売するため、合同会社 deep plus を設立いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 46 億 6 千 3 百万円（前年同四半期 40 億 2 千 6 百万円）、営業損失 2 億 1 千 2 百万円（前年同四半期 4 億 7 千 1 百万円）、経常損失 2 億 6 千 2 百万円（前年同四半期 4 億 1 千 7 百万円）、固定資産売却益 1 億 7 千 9 百万円及び投資有価証券売却益 7 千 9 百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失 9 千 3 百万円（前年同四半期 1 億 4 千 4 百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 建設用陶磁器等事業

当第3四半期連結累計期間において、建設用陶磁器等事業の売上高は 37 億 6 千 3 百万円（前年同四半期 38 億 2 千 9 百万円）、営業損失は 6 億 1 千 7 百万円（前年同四半期 5 億 9 千 7 百万円）となりました。

ロ. 不動産事業

当第3四半期連結累計期間において、不動産事業の売上高は 9 億 9 千 9 百万円（前年同四半期 2 億 6 千 4 百万円）、営業利益は 4 億 7 百万円（前年同四半期 1 億 2 千 9 百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末において総資産は、現金及び預金が 2 億 3 千 5 百万円及び有形固定資産が 1 億 2 千 1 百万円減少したこと等に伴い、前連結会計年度末に比べ 3 億 1 千 8 百万円の減少となりました。

負債につきましては、短期借入金が 2 億 7 千 1 百万円及び未払金が 1 億 4 千 7 百万円減少したこと等により、4 億 5 千 4 百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金が 9 千 3 百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が 2 億 1 千 4 百万円増加したこと等の結果、1 億 3 千 5 百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019 年 12 月期の通期業績予想につきましては、現時点において 2019 年 8 月 9 日の公表数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,222	987
受取手形及び売掛金	1,154	1,139
商品及び製品	1,289	1,321
仕掛品	87	79
原材料及び貯蔵品	59	61
未収入金	43	43
その他	25	41
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,883	3,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	929	860
機械装置及び運搬具(純額)	427	383
工具、器具及び備品(純額)	36	29
土地	292	291
有形固定資産合計	1,686	1,565
無形固定資産		
のれん	110	92
ソフトウェア	138	153
その他	12	12
無形固定資産合計	261	258
投資その他の資産		
投資有価証券	6,740	6,763
長期貸付金	1,000	1,000
繰延税金資産	20	23
その他	199	185
貸倒引当金	△45	△44
投資その他の資産合計	7,914	7,928
固定資産合計	9,862	9,752
資産合計	13,745	13,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	595	451
短期借入金	637	366
未払金	299	152
未払法人税等	58	38
賞与引当金	—	26
災害損失引当金	270	256
その他	51	73
流動負債合計	1,913	1,365
固定負債		
繰延税金負債	416	495
退職給付に係る負債	400	420
長期預り保証金	887	882
資産除去債務	17	17
固定負債合計	1,722	1,816
負債合計	3,635	3,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,635	1,635
資本剰余金	1	1
利益剰余金	7,439	7,346
自己株式	△104	△104
株主資本合計	8,972	8,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	795	1,010
為替換算調整勘定	0	7
その他の包括利益累計額合計	796	1,018
非支配株主持分	340	348
純資産合計	10,109	10,245
負債純資産合計	13,745	13,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,026	4,663
売上原価	3,009	3,234
売上総利益	1,017	1,429
販売費及び一般管理費	1,488	1,642
営業損失(△)	△471	△212
営業外収益		
受取利息	39	35
為替差益	23	—
仕入割引	9	12
デリバティブ利益	2	0
その他	9	6
営業外収益合計	85	54
営業外費用		
支払利息	5	6
為替差損	—	68
売上割引	4	4
固定資産除却損等	6	4
租税公課	9	8
減価償却費	0	0
その他	4	10
営業外費用合計	31	103
経常損失(△)	△417	△262
特別利益		
固定資産売却益	—	179
投資有価証券売却益	312	79
特別利益合計	312	258
特別損失		
固定資産除却損	2	—
割増退職金	1	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△108	△3
法人税等	33	79
四半期純損失(△)	△142	△83
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	10
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△144	△93

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△142	△83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△392	215
為替換算調整勘定	△0	6
その他の包括利益合計	△393	221
四半期包括利益	△535	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△537	128
非支配株主に係る四半期包括利益	1	10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間より新たに設立した合同会社 deep plus を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設用陶磁器 等事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,829	197	4,026	—	4,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	67	67	△67	—
計	3,829	264	4,094	△67	4,026
セグメント利益又は損失(△)	△597	129	△468	△3	△471

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円には、たな卸資産の調整額が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「不動産事業」セグメントにおいて、タッチストーン・キャピタル・マネジメント株式会社の全株式を取得し連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間において、のれんが1億5百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、タッチストーン・キャピタル・マネージメント株式会社が当社の連結子会社となったことから、報告セグメント名称の見直しを行い、従来の「不動産賃貸事業」を「不動産事業」へ変更しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設用陶磁器 等事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,763	900	4,663	—	4,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	98	98	△98	—
計	3,763	999	4,762	△98	4,663
セグメント利益又は損失(△)	△617	407	△210	△2	△212

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループには、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、これは2億1千2百万円の営業損失を計上しているためであります。

このような状況の中、当社グループの取り組みといたしましては、タイル事業につきましては、引き続き工場の稼働率の向上による原価率の改善、販売体制の強化を図り、タイル乾式工法等の積極提案受注活動を行っており、併せて、更なるコスト削減に努めております。

また、不動産事業につきましては、新規顧客の開拓による事業拡大に努め、また、不動産事業を通じてタイル事業への効果を高めると共に、遊休不動産の活用も引き続き進めることにより赤字体質からの脱却を目指し、当第3四半期連結累計期間計上の営業損失2億1千2百万円を早期に解消し、営業黒字体質の構築に取り組む所存であります。

なお、資金面に関しては、急激な市場環境等の変化に対応するための現金及び預金を中心とした金融資産を有しております。